

令和2年第1回大崎市議会定例会会派代表質問発言通告書

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
1	4	改新クラブ 山口文博	<p>1 鹿島台地域の復旧について</p> <p>(1) 洪水被害を受けた市道、雨水排水路、農地の復旧</p> <p>ア 吉田川の破堤により濁流が志田谷地地区を襲い、市道、橋梁、雨水排水路等のインフラが甚大な被害を受けた。その復旧工事は、いつ着手し、いつまでに完了するのか見通しを伺う</p> <p>イ 農地等災害復旧支援事業補助金（大崎市単独）の件数及び総額、並びに施工完了時期の見通しについて伺う</p> <p>(2) 農業施設及び農業用排水路等の改良復旧</p> <p>ア 土地改良区管理にある用水路及び排水路、並びに除じん機の復旧工事は、いつ着手し、いつまでに完了するのか見通しを伺う</p> <p>イ 揚水機場及び排水機場の改良復旧の見通し、及びその施工完了時期について伺う</p> <p>(3) 志田谷地地区の復興支援の指定寄附として 5,000 万円いただいたが、具体的な使途と、いつまでに使う考えか伺う</p> <p>2 吉田川・鶴田川（高城川）の水害対策について</p> <p>(1) 鳴瀬川水系「吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクト」の「水害に強いまちづくりモデル事業」について伺う</p> <p>(2) 鶴田川（高城川）の河道掘削、築堤等について伺う</p> <p>3 内水氾濫対策について</p> <p>(1) 内水氾濫対策強化に向けた取り組みについて所見を伺う</p> <p>4 Society5.0 の実現に向けて</p> <p>(1) Society5.0 実現に取り組む中、以下について所見を伺う</p> <p>ア 市民生活に及ぼす影響</p> <p>イ 本市としていかに取り組む考えか</p> <p>ウ 職員の仕事における影響</p> <p>エ 市長の本気度</p> <p>5 5G（第5世代移動体通信システム）導入推進に向けて</p> <p>(1) Society5.0 の早期実現のために、5Gの展開、さらにその先の6Gの覇権争いが始まっている。5Gの有効活用を自治体でも求められる時代になった。議論は行われているのか伺う。</p> <p>また、職員の新しいものに取り組む意識や組織文化は醸成されているか、そのための仕組みがあるか伺う</p> <p>6 新年度予算編成と財政健全化について</p> <p>(1) 新年度予算を一言で例えるとどのようなものか</p> <p>(2) 新年度予算における目玉は何か</p> <p>(3) 財政規律を維持するために意を用いた点は何か</p> <p>7 中期財政見通しについて</p> <p>(1) 人口減少時代にあつては、身の丈を考えた財政運営は市政の要諦と考える。20年先の2040年における、推</p>	105分

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>計人口 103,150 人時代に対応する財政はどうあるべきかの議論を常に行っておく必要がある。10 月 13 日の水害からの復旧復興や、庁舎建設等々の最新財政需要見通しを反映した中期財政見通しを早急に策定すべきであるが、所見を伺う</p> <p>8 人財育成について</p> <p>(1) 令和の新時代に対応した改定「大崎市人材育成基本針」の策定が急務と考えるが、所見を伺う。 人事制度の抜本的改革により、行政サービス向上及び職員モチベーション向上をともに図るべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>9 ペーパーレス化（ICT利活用）について</p> <p>(1) 本市では既に庁議等会議のペーパーレス化に着手していると認識しているが、以下について伺う</p> <p>ア どこまでペーパーレス化が進んだか イ 事業のKPIはどうなっているか ウ 費用対効果がどの程度認められたのか エ 新年度の取り組み</p> <p>10 地域自治組織の支援と市民協働の推進について</p> <p>(1) 大崎市流地域自治組織の改革が必要だということで、住民主体で検討会を立ち上げ議論している地区もあると聞くが、制度の見直しやブラッシュアップについて伺う</p> <p>ア モデル事業や実証事業を通じてどのような成果及び課題が見えてきたのか イ 新年度の取り組み ウ 合併時と考え方に変化はあるか</p> <p>(2) 地域自治の主体は多種多様である。官製の大崎市流地域自治組織以外で、地域づくりに取り組み地域を支える団体や個人に対し、行政が協働することや財政的な支援を行うべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>11 公共施設等の管理推進について</p> <p>(1) 平成 29 年 2 月策定の「大崎市公共施設等総合管理計画」では、13 の施設類型ごとに公共建築物の将来需要を推計し、施設再配置等を推進する個別施設計画を策定するとあるが、策定及び公表の状況を伺う</p> <p>12 陸羽東線塚目駅移転整備計画について</p> <p>(1) 現塚目駅の老朽化や使いにくさは長年の課題だが、移転にかかる費用と利用者増加について疑問が残る</p> <p>ア 将来のまちづくりが移転方針にどのような影響を与えたのか伺う イ 市の財政負担は大きいと費用対効果について所見を伺う</p> <p>13 公共交通の運賃無料化について</p> <p>(1) 昨今の高齢化の進展により交通弱者がふえる状況を見ると、公共交通は身近で頼りになる「足」にならなくてはならない。そのためには、運賃無料化により経済的負担を低減し、高齢者が公共交通を使いやすくする</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項
			<p>ことが必要と考えるが、所見を伺う</p> <p>14 宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 市総合戦略を延長する2年間に、国の総合戦略は第2期目に突入するが、施政方針には地方創生の具体的な取り組みが出てこなかった。理由を伺う</p> <p>15 GIGAスクール構想の実現（学校のICT環境整備の抜本的充実）について</p> <p>(1) 政府はGIGAスクール構想を掲げ、その実現を推進するGIGAスクール実現推進本部を設置した。さらに令和元年度補正予算には、(1) 校内高速通信ネットワークの整備及び(2) 児童生徒1人1台端末の整備という2つの事業を計上し、構想実現に並々ならぬ決意を示している。また同時に首長のリーダーシップも求めている。本市の現状と今後の取り組みについて伺う</p> <p>16 学校教育環境整備について</p> <p>(1) 今後、設置が見込まれる小中一貫校や義務教育学校の教育理念は、誰がどのようにしてつくるのか。また、どのようなものを想定しているのか</p> <p>(2) 統合校、特に義務教育学校において、教育委員会がリーダーシップをとり、学力の向上はもとより、他にない特色を打ち出すべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 統合校の全体像を早く示してほしい一方で、古川北部及び古川西部では、準備委員会を設置したが開校まで期間が短く、十分な準備や議論ができるのかという声がある。岩出山小学校統合の経験や反省点を踏まえ、そうした声にどのように応えるのか、所見を伺う</p> <p>17 芸術文化振興について</p> <p>(1) 演劇や音楽など芸術文化に対する取り組みが、本市は薄いと言われている。文化芸術は「心の栄養」とも表現され、近隣市町では市民劇団の活動も活発である。施政方針からも昨年に比べて発展がなく、今後の取り組み方針と本気度を伺う</p> <p>18 スポーツ振興について</p> <p>(1) 近年、大崎市出身トップアスリート及び大崎市に縁のあるアスリートの活躍が目立つ。次に続く若いアスリートを育成するためのスポーツ基金をつくり応援してはどうか</p> <p>19 総合運動公園整備促進について</p> <p>(1) 市民との議会報告・意見交換会の場で、サッカー場や陸上競技場などを含む総合運動公園整備の要望が多かった。施設整備の方向性を伺う</p> <p>20 大迫地区学童保育の施設改修について</p> <p>(1) 旧鹿島台第二幼稚園の園舎を利用して運営しているが、次のような問題があると考え、所見を伺う</p> <p>ア もともと幼稚園のため、トイレの大きさが児童の体型に合わない。改修を長年要望しているがいまだに実施されない。改修の見通しを伺う</p> <p>イ 古い施設のため、冬は寒く夏は暑い。利用する児童の</p>

発言順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			<p>健康への影響が心配される。そこで、施設改修並びに暖房器具更新及び冷房用エアコンの設置について伺う</p> <p>(2) 運営費に剰余金が発生した場合、そのお金を流用し対策をできるように制度を改められないか</p> <p>21 少子化対策について</p> <p>(1) 新年度予算に計上する少子化対策の新規事業は何か</p> <p>22 市民病院への評価について</p> <p>(1) 大崎市民病院は、本院を中心に地域の命のとりでとして評価を得ている。一方、分院は地域のかかりつけ医として日常の市民の健康管理を担い、市民の安心・安全に一定の貢献をしている。しかし、一部市民からは、全く逆の評価が聞かれることも多い。現状の評価に満足せず、批判的な市民の声にも真摯に応え、よりよい病院を目指すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>23 世界農業遺産について</p> <p>(1) 世界農業遺産認証の目的は何か。地域の価値を高め、産業を振興することが目的の一つだとの認識で、以下伺う</p> <p>ア 地域資源の見える化によるツーリズムの推進を掲げるが、具体的な成果指標として交流人口何名増をもくろむのか</p> <p>イ 農産品などのブランド認証制度の運用拡大を掲げるが、具体的な成果指標として農産品などの売上高のどれだけの増大をもくろむのか</p> <p>24 岩出山城の部分築城及び城下町の整備について</p> <p>(1) 国内外からの観光客を呼び込むために、岩出山城の部分築城について所見を伺う</p> <p>(2) 岩出山地域の旧有備館付近や商店街を城下町風に整備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>25 インバウンド・観光プロモーションについて</p> <p>(1) 台湾へのプロモーションを強化しているが、欧米豪圏へのプロモーションの実施内容と成果を伺う</p> <p>26 再生可能エネルギー政策について</p> <p>(1) 新年度の再生可能エネルギー政策の目玉となる取り組みについて伺う</p> <p>27 小規模事業者への支援について</p> <p>(1) 個人商店等小規模事業者の廃業が続く中、地域のきずなづくりの観点からも、これ以上の商店の減少は食いとめなければならない。市としての取り組みを伺う</p> <p>28 スマート農業の振興について</p> <p>(1) 台風 19 号による被害を受けた志田谷地地区は、今後、復旧復興を創造的復興としてどう進めるかが課題である。広大で障害物の少ない地の利を生かし、国等の支援を受けながら AI、IoT 及びドローンを導入したスマート農業の先進地として再生を目指すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>29 大崎西部地区の農業振興について</p> <p>(1) 現在、大崎西部地区にはカントリーエレベーターがな</p>

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
2	10	<p>創新会 佐藤弘樹</p>	<p>い。持続可能な営農を展開し、世界農業遺産としてこの地域の米作を守るためには、ぜひ大崎西部地区にカントリーエレベーターを整備すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>30 林業振興について</p> <p>(1) 森林環境譲与税を活用した大崎市の森林整備を、フルに構想を練るために新たな考えがあるのか</p> <p>(2) 森林整備は、除間伐や育林だけを考えるのではなく、生活に密着した森林活用を構想しなければならないと思うが、所見を伺う</p> <p>31 公園整備について</p> <p>(1) 公園利用者は、子供から高齢者まで多様だ。多くの市民が満足できる公園のあり方について所見を伺う</p> <p>(2) 一番身近にある街区公園等の施設、設備の老朽化や手入れの不備が散見され、利用率が低いようだが対策は</p> <p>(3) これまで公園整備計画は現在はないとの答弁だったが、市民満足度の高い公園へスクラップ・アンド・ビルドすべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 災害復旧対応について</p> <p>(1) 被災された住民への支援情報等周知と対応状況は</p> <p>(2) 農・商・工業関係の復旧支援現況と対策は</p> <p>2 災害時支援協定について</p> <p>(1) 災害時の自治体間支援協定の現状は</p> <p>(2) 自治体間支援協定のあり方と方向性は</p> <p>3 洪水被害軽減対策について</p> <p>(1) 再生可能エネルギー施策建設手続を厳格化すべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(2) 田んぼダムの効果や取り組みの考えは</p> <p>4 中小企業振興策について</p> <p>(1) 「中小企業及び小規模企業振興基本条例」の理解と成果は</p> <p>(2) 創業・起業家へのさらなる支援策の考えは</p> <p>5 障がい者支援策について</p> <p>(1) 「大崎市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用を促進する条例」施行後の施策展開現況は</p>	60分
3	27	<p>日本共産党大崎市 議会議員団 小沢和悦</p>	<p>1 旧田尻町時代から築き上げられてきた予防・認知症専門外来を含む医療・介護等地域包括ケアの先駆的取り組みの全市規模への展開について</p> <p>(1) 旧田尻町・スキップセンター設置以来の認知症専門外来と地域包括ケア体制は厚生労働省がホームページでも全国に周知するほど評価の高いものだが、市長も同様の認識か</p> <p>(2) 田尻スキップセンターの診療所を含む態勢、機能を維持しつつ、各分院に広げることが必要と思うがどうか</p>	60分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
4	23	新生会 後藤錦信	<p>(3) 田尻診療所は、日本認知症学会等から来年、再来年までの期間設定で「専門医制度における教育施設」として認定を受けているが、一方的「認定返上」は全国的な認知症対策強化の課題から公立病院としての責任上もやるべきなのではないか</p> <p>2 放射能汚染廃棄物の長期にわたる焼却は、市民を内部被曝の危険にさらすものなので、別な処理方法を具体化すべきではないのか</p> <p>(1) 本焼却期間は「約7年間」とする説明会での「説明」は、数十年にも及ぶ可能性を隠すものではないのか</p> <p>(2) 焼却による内部被曝の危険はないと断言できるのか。できるとすれば根拠を示すべきではないか</p> <p>(3) 「ボタンのかけ違い」を認め、改めて関係団体との覚書等遵守、放射能の危険性の検証、焼却にかわる処理方策の再検討で歴史に禍根を残さない誤りなき判断をすべきではないのか</p> <p>3 補聴器購入助成制度と調整サービス提供体制の構築について</p> <p>(1) 補聴器による健康維持効果、しかし購入価格は安くはないという認識はあるか</p> <p>(2) 「高額」という問題と、購入しても「合わない、使いづらい」という声があることは承知か</p> <p>(3) できることから難聴者を支援する、そして国の制度にするという構えが必要ではないのか</p> <p>4 子育て支援の充実強化について</p> <p>(1) 学校給食費無償化の実現を図ることについて</p> <p>(2) 医療費助成対象の拡大と所得制限の撤廃について</p>	60分
5		自民党おおさ き市民会議	<p>1 宝の都（くに）・おおさき市地方創生総合戦略について</p> <p>(1) 第1期計画の事業効果と検証について</p> <p>(2) 第2期計画の策定プロセスの考え方について</p> <p>2 大崎市国土強靱化地域計画の策定について</p> <p>(1) 計画策定のプロセスの考え方について</p> <p>(2) 治山、治水への取り組みについて</p> <p>(3) 河川管理と立木処理について</p> <p>3 林業振興について</p> <p>(1) 大崎市森林ビジョンの実施状況と成果について</p> <p>(2) 策定後5年を経過しての見直しについて</p> <p>4 地域おこし協力隊について</p> <p>(1) 隊員募集が進まないようだがその要因は</p> <p>(2) 今後に向けての取り組みについて</p> <p>5 食生活改善への取り組みについて</p> <p>(1) 食品ロス削減の取り組みについて</p> <p>6 異常気象による暖冬の影響について</p> <p>(1) 市内における記録的少雪の影響と対策について</p>	45分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
	20	相澤孝弘	<p>1 大崎市の魅力向上につながる政策実行を早期に政治決断すべきであるが</p> <p>(1) 人口減少・少子化傾向を歯どめする施策を早急に実行すべきであるが、所見を伺う</p> <p>(2) 高齢福祉対策と労働者不足への対応について</p> <p>(3) 新県民会館を古川駅周辺に誘致すべきであるが、所見を伺う</p> <p>(4) 安心・安全な地域づくりの実現にどう取り組むのか</p> <p>2 水害に強いまちづくりについて</p> <p>(1) 具体的な取り組みを関係住民にいつ明らかにするのか</p> <p>(2) 最新資機材の導入整備を早急にすべきであるが、所見を伺う</p> <p>(3) 揚排水施設の拡充機能強化を積極的に取り組むべきであるが、所見を伺う</p> <p>(4) 最低でも床下浸水で建物を守る、水害に備える重要事項を開発や建築指導時に行うべきであるが、所見を伺う</p>	
6	21	大志会 富田文志	<p>1 市街地整備とにぎわい創出の取り組みについて</p> <p>(1) バランスのとれた市街地形成の見直しについて</p> <p>ア 中心市街地の一極を担うリオーネがテナントの撤退等で本来の役割から後退しているが、回遊を促すための具体策を伺う</p> <p>イ 道の駅おおさきの集客実績と開業後に明らかになった課題を伺う</p> <p>(2) 若い世代の定住を促す具体的な施策について</p> <p>ア 若い世代が望む、自由に遊べる場所がないということについての対応策を伺う</p> <p>(3) 古川地域以外の活性化推進策について</p> <p>ア リオーネ、醸室、市民病院、市図書館、道の駅おおさき、そして市役所本庁舎や七日町西地区再開発事業などで新しくできる主要施設が、古川地域に集中していると言われていたが、他の地域の活性化はどのように進められていくのか伺う</p> <p>2 異常気象への対策について</p> <p>(1) 自然災害に備えるための強化対策について</p> <p>ア 大地震や大雨など想定外という言葉が不自然なほど予想を上回る災害が多発している。強化対策が急務になっているがどのような手順で進められようとしているのか伺う</p> <p>(2) 降雪不足による影響について</p> <p>ア 除雪作業を冬期間の事業の一つにしている事業者もあると思うが影響はないのか伺う</p> <p>イ 雪不足は農耕シーズンの水不足につながるが見通しと対策を伺う</p> <p>3 水道事業について</p> <p>(1) 県の3水道事業民営化について</p>	30分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
7	16	公明党 横山悦子	<ul style="list-style-type: none"> ア 大崎市でも一部民営化が進められているが、県の民営化による市民への影響について伺う イ 市の水道事業会計への影響について伺う 4 市民病院の役割について <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民への医療サービスの均てん化について <ul style="list-style-type: none"> ア 約 800 平方キロメートルという広い面積に 13 万人弱の人口を 7 地域の医療機関で支えているが、医療の均てん化をどのように市民に届けていくのか伺う (2) 県北部の中核病院としての役割について <ul style="list-style-type: none"> ア 圏域医療は一病院だけの問題ではなく、宮城県や大学病院医学部、圏域各病院群等との連携の中で運営が成り立っていると思うが、その中で大崎市民病院が目指す病院はどのように進められていくのか伺う (3) 新型コロナウイルスの対応について <ul style="list-style-type: none"> ア 感染の可能性のある対象者の検査はどのようにして行われるのか伺う イ 6 室ある感染症病室に入るまでの対策は万全か伺う ウ 新幹線古川駅は大崎市の表玄関に当たるが、大崎市の水際作戦、危機管理対策は大丈夫か伺う 1 台風 19 号被災者に寄り添う政策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 罹災証明の判定に不公平感はないのか (2) 集団移転の予定の考えについて (3) 「台風 19 号浸水被害分科会」においてどのような対策が決定されたのか伺う (4) 今回の意向調査を受け、市は志田谷地地区をどのようにしていくのか方針を示してほしい (5) 医療費の免除と介護保険サービス負担額の免除期間延長について (6) 同じ場所に新築される方に固定資産の減免を考えてはどうか 2 鳥獣被害対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 被害の現状（被害額・生息分布）をどう把握しているのか (2) 鳥獣被害が深刻化してきた要因をどう捉えているのか (3) 個人の対応には限界がある。集落ぐるみの対応を基本に、今後の ICT 捕獲の成果と計画について問う 3 子育て支援について <ul style="list-style-type: none"> (1) 睡眠中の赤ちゃんを見守る「ベビーセンサー」の導入について (2) インフルエンザ予防接種への助成について (3) 子ども医療費の助成拡大（所得制限の撤廃）について (4) 未乳幼児健診者への対策はどのようにしているのか 	30 分
8	28	大清会 佐藤 勝	<ul style="list-style-type: none"> 1 「おおさき元気戦略」の計画延長に伴う見直しに、市民意見を求めなかった行政の責務こそ、見直す必要があると思 	30 分

発言順	議席番号	氏名	発言事項	
			<p>うが</p> <p>(1) 昨年3月の宝の都おおさき元気戦略プロジェクトの本部会議で、第2次総合計画の後期計画と一体的に策定するため2年間延長の決定をしたが、それから1年、なぜ市民との対話の機会を持たなかったのか。</p> <p>また、昨年の会派代表質問で伊藤市長は「市民意識調査で満足度の低い施策の検証をする」、高橋副市長は「調査の工夫とあり方を考えたい」との答弁だったが、それに基づく見直し案であるのか</p> <p>(2) 4つの基本目標で市民満足度の低い施策は、特に市民の声を聞く機会を持つべきと考えるが、所見を伺う。また、その時間は最低6カ月、それがこの「元気戦略推進」の数値目標に近づける道であると考えているが、いかがか</p> <p>(3) 3月に最終案とのことだが、なぜそんなに急ぐのか。パブリックコメントはあるものの、市の本部会議と各種団体の代表者、市の選出した市民代表と学識経験者などの12名のみで施策とKPIの見直し、指標の設定をするのか。</p> <p>推進委員の負担は大きいことが懸念されるが、人口減少に対する現状認識と問題意識が、委員意見のみで13万市民との共有ができているのか。</p> <p>最終案はもっと進化させて、12月定例会までに延期すべきと考えるがどうか</p> <p>(4) 基本目標1、市内に安定した雇用を創出する項で、2年後の目標値は分譲面積10ヘクタール程度の工業団地を7年以内に整備となっているが、その手順をどうするのか</p> <p>(5) 基本目標2、仙台圏及び首都圏からの人の流れをつくる項では、地方創生の切り札とも言われる「道の駅」を、見直し前の2-6に主要事業と位置づけていたが、延長、見直しの施策に入れなかったのはどのような理由か。</p> <p>また、仙台圏及び首都圏から人の流れをつくる国道4号沿いの「やまなみの機能アップ化」と「市内4つ目の道の駅の新設」の時期を伺う</p>	